

3. 調査地点及び実施方法

初期環境調査は、全国の都道府県及び政令指定都市に試料採取及び分析を委託し、一部の分析は民間分析機関においても実施した。

(1) 試料採取機関

試料採取機関名※	調査媒体		
	水質	底質	大気
北海道環境生活部環境局環境推進課および地方独立行政法人北海道立総合研究機構環境・地質研究本部環境科学研究センター	○		○
札幌市衛生研究所	○	○	○
岩手県環境保健研究センター	○	○	
宮城県保健環境センター	○		
仙台市衛生研究所		○	
秋田県健康環境センター	○	○	
茨城県霞ヶ浦環境科学センター		○	○
埼玉県環境科学国際センター			○
さいたま市健康科学研究センター			○
千葉県環境研究センター	○		○
東京都環境局環境改善部	○	○	
神奈川県環境科学センター			○
横浜市環境科学研究所	○	○	○
新潟県保健環境科学研究所	○		
富山県環境科学センター			○
石川県保健環境センター	○		○
山梨県衛生環境研究所			○
長野県環境保全研究所			○
愛知県環境調査センター	○	○	○
名古屋市環境局環境科学調査センター	○		○
三重県保健環境研究所	○	○	○
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	○	○	
京都府保健環境研究所	○		
京都市衛生環境研究所			○
大阪府環境農林水産部環境管理室環境保全課および地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	○	○	
大阪市立環境科学研究所	○		
兵庫県農政環境部環境管理局水大気課	○		
神戸市保健福祉局健康部環境保健研究所	○		
和歌山県環境衛生研究センター			○
岡山県環境保健センター	○		
山口県環境保健センター	○		○
徳島県立保健製薬環境センター			○
香川県環境保健研究センター	○	○	○
福岡県保健環境研究所	○		○
北九州市環境局環境科学研究所	○		○
福岡市保健環境研究所	○		
佐賀県環境センター			○
大分県生活環境部衛生環境研究センター		○	○
宮崎県衛生環境研究所			○

(注) ※の試料採取機関名の欄に記載された名称は、平成 26 年度末のものである。

(2) 調査地点及び調査対象物質

水質については表 1-1、図 1-1 及び図 1-2 に、底質については表 1-2、図 1-1 及び図 1-2 に、大気については表 1-3、図 1-3 及び図 1-4 に示した。その数量は以下のとおりである。

なお、調査地点の選定は、一般環境中で高濃度が予想される地域においてデータを取得するため、排出に関する情報を考慮して行うこととした。平成 26 年度調査の地点選定においては、PRTR 届出排出量が得られている物質について、届出排出量が多い地点の周辺を調査地点に含めることとした。

調査媒体	地方公共団体数	調査対象物質（群）数	調査地点数	調査地点ごとの検体数
水質	25	8	36	1
底質	13	3	14	3
大気	25	6	29	3
全媒体	39	15	68	

表1-1 平成26年度初期環境調査地点・対象物質一覧（水質）

地方 公共団体	調査地点	調査対象物質							
		[1]	[3]	[4]	[5]	[8]	[12]	[13]	[14]
北海道	十勝川すずらん大橋（帯広市）		○	○	○			○	
	石狩川河口石狩河口橋（石狩市）	○	○	○	○			○	
札幌市	豊平川中沼（札幌市）	○					○		○
	新川第一新川橋（札幌市）	○					○		○
岩手県	豊沢川（花巻市）		○						
宮城県	迫川二ツ屋橋（登米市）	○		○	○			○	○
	白石川さくら歩道橋（柴田町）	○		○	○			○	○
秋田県	秋田運河（秋田市）	○	○	○	○	○	○	○	○
	雄物川岳見橋（大仙市）	○	○	○	○	○	○	○	○
千葉県	養老川浅井橋（市原市）		○	○				○	○
東京都	荒川河口（江東区）	○	○	○	○	○	○	○	○
	隅田川河口（港区）	○	○	○	○	○	○	○	○
横浜市	鶴見川亀の子橋（横浜市）	○	○	○	○	○	○	○	○
	横浜港	○	○	○	○	○	○	○	○
新潟県	信濃川下流（新潟市）					○			
石川県	犀川河口（金沢市）	○				○	○		
愛知県	名古屋港潮見ふ頭西※			○	○	○			
名古屋市	堀川港新橋（名古屋市）		○	○	○			○	
三重県	四日市港					○	○		○
滋賀県	琵琶湖南比良沖中央						○		
	琵琶湖唐崎沖中央						○		
京都府	宮津港					○	○		○
大阪府	大和川河口（堺市）		○	○	○	○	○	○	
大阪市	大川毛馬橋（大阪市）		○				○		○
	大阪港		○				○		○
兵庫県	姫路沖				○				
神戸市	神戸港中央								○
岡山県	笹ヶ瀬川笹ヶ瀬橋（岡山市）		○					○	○
	水島沖		○					○	○
山口県	徳山湾					○			
	萩沖					○			
香川県	高松港	○		○	○				
福岡県	雷山川加布羅橋（糸島市）	○							○
	大牟田沖	○							○
北九州市	洞海湾					○			
福岡市	博多湾	○	○	○	○	○	○	○	○

[1] 6-アセチル-1,1,2,4,4,7-ヘキサメチルテトラリン、[3] エリスロマイシン及びクラリスロマイシン並びにその他マクロライド化合物等、[4] オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びその他テトラサイクリン化合物並びにその代謝物質、[5] 5-クロロ-2-(2,4-ジクロロフェノキシ)フェノール（別名：トリクロサン）、[8] 1,2-ジクロロ-4-ニトロベンゼン、[12] 2,4-ジメチルアニリン、[13] スルファメトキサゾール及びその他スルファニルアミド化合物並びに 2,4-ジアミノピリミジン化合物、[14] 2,2',4,4'-テトラヒドロキシベンゾフェノン

（注）※の地点について、初期環境調査及び詳細環境調査の「名古屋港潮見ふ頭西」とモニタリング調査の「名古屋港」は同一地点である。

表1-2 平成26年度詳初期境調査地点・対象物質一覧（底質）

地方 公共団体	調査地点	調査対象物質		
		[8]	[10]	[12]
札幌市	豊平川中沼（札幌市）			○
	新川第一新川橋（札幌市）			○
岩手県	豊沢川（花巻市）	○	○	○
仙台市	広瀬川広瀬大橋（仙台市）	○	○	○
秋田県	秋田運河（秋田市）	○	○	○
茨城県	利根川河口かもめ大橋（神栖市）	○	○	○
東京都	荒川河口（江東区）	○	○	○
横浜市	横浜港	○	○	○
愛知県	名古屋港潮見ふ頭西		○	
三重県	四日市港	○	○	○
滋賀県	琵琶湖唐崎沖中央	○	○	○
大阪府	大和川河口（堺市）	○	○	○
香川県	高松港	○	○	○
大分県	大分川河口（大分市）	○	○	○

[8] 1,2-ジクロロ-4-ニトロベンゼン、[10] 6,6'-ジ-*tert*-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール、[12] 2,4-ジメチルアニリン



図1-1 平成26年度初期環境調査地点（水質・底質）

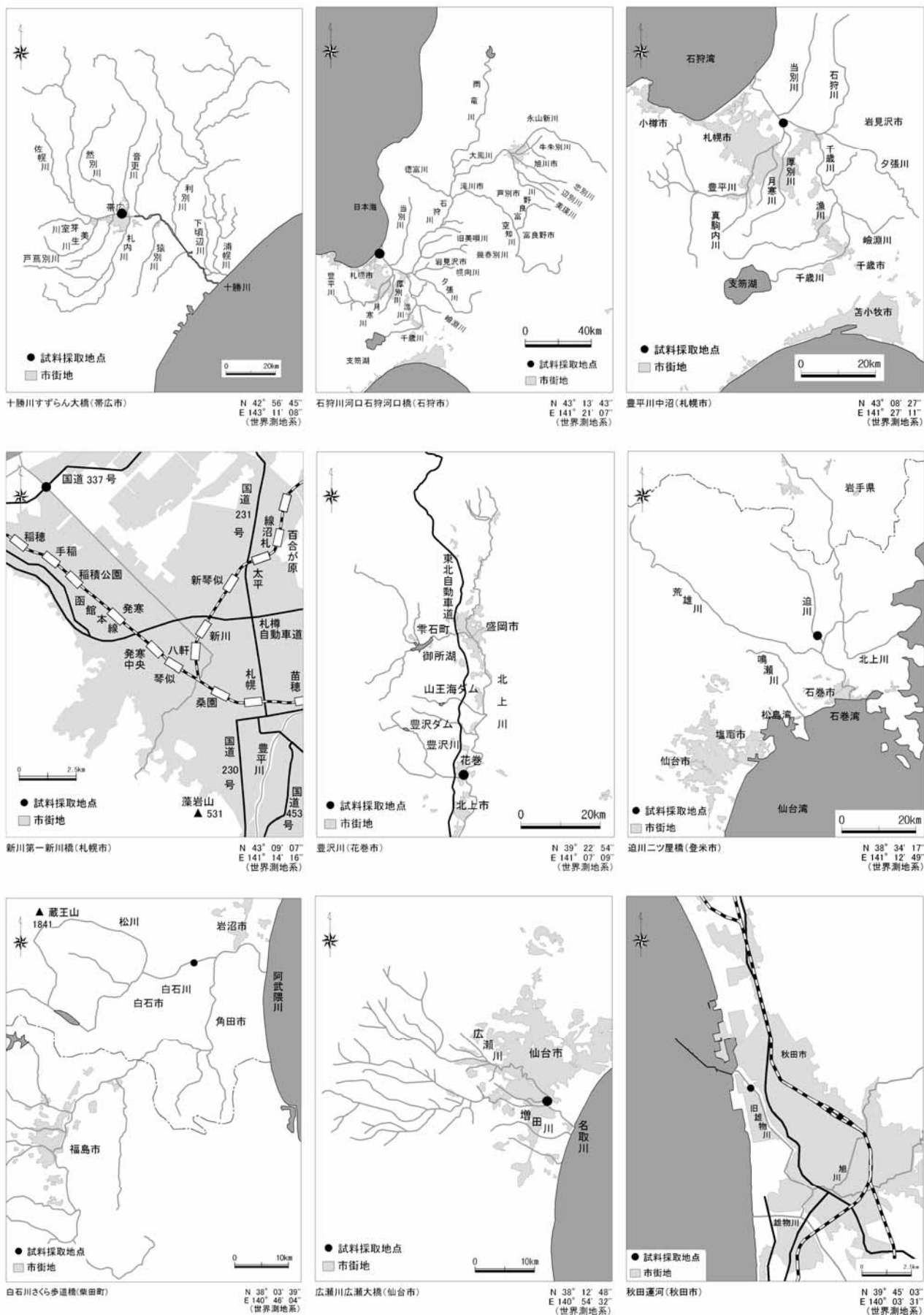


図 1-2 (1/5) 平成 26 年度初期環境調査地点 (水質・底質) 詳細

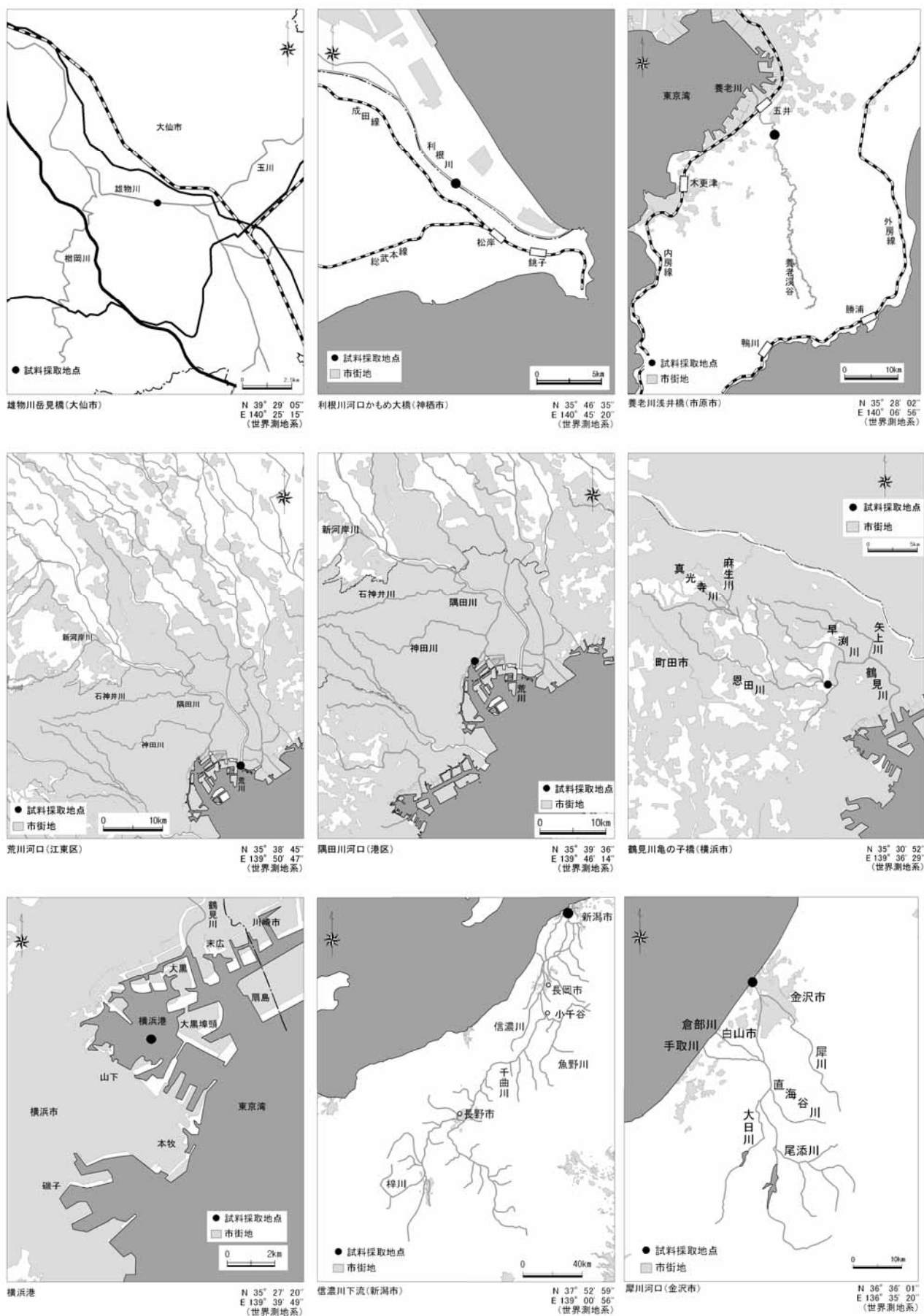


図 1-2 (2/5) 平成 26 年度初期環境調査地点(水質・底質) 詳細

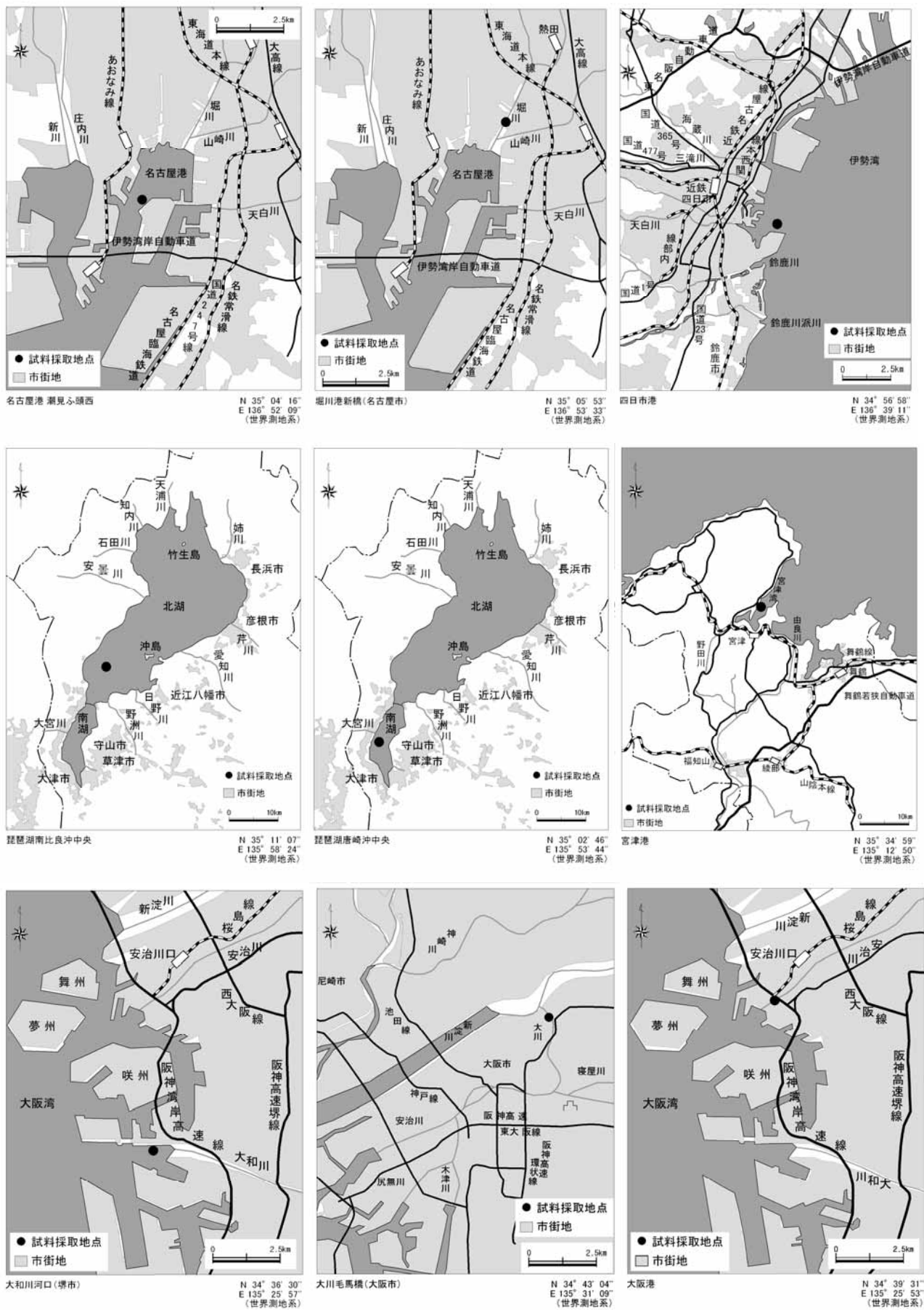
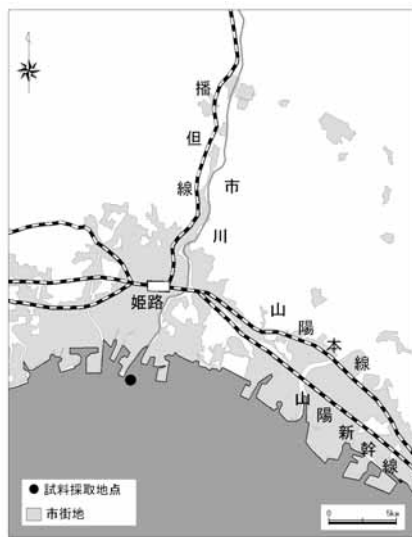


図 1-2 (3/5) 平成 26 年度初期環境調査地点 (水質・底質) 詳細



姫路沖
N 34° 45' 43"
E 134° 40' 11"
(世界測地系)



神戸港中央
N 34° 39' 52"
E 135° 11' 40"
(世界測地系)



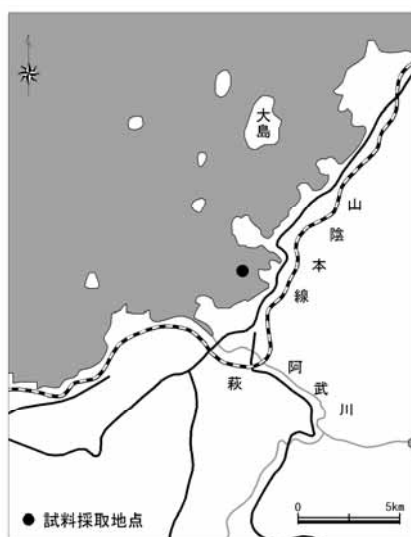
姫路沖
N 34° 37' 09"
E 133° 54' 22"
(世界測地系)



水島沖
N 34° 28' 50"
E 133° 39' 54"
(世界測地系)



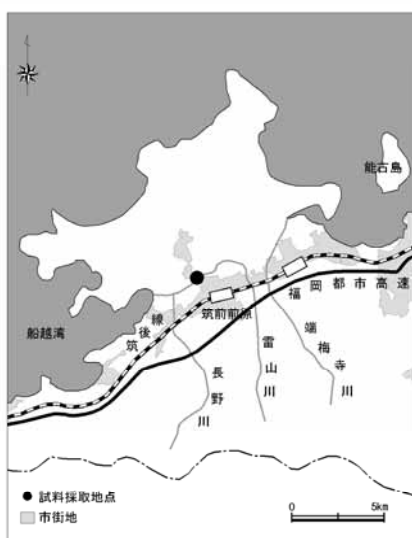
徳山湾
N 33° 59' 37"
E 131° 45' 02"
(世界測地系)



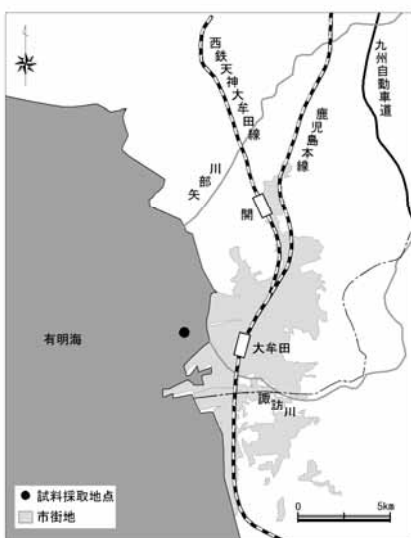
萩沖
N 34° 26' 04"
E 131° 24' 01"
(世界測地系)



高松港
N 34° 20' 59"
E 134° 04' 44"
(世界測地系)



雷山川加布羅橋(糸島市)
N 33° 33' 54"
E 130° 11' 25"
(世界測地系)



大牟田沖
N 33° 01' 56"
E 130° 24' 30"
(世界測地系)

図 1-2 (4/5) 平成 26 年度初期環境調査地点 (水質・底質) 詳細

表 1-3 平成 26 年度初期環境調査地点・対象物質一覧（大気）

地方 公共団体	調査地点	調査対象物質					
		[2]	[6]	[7]	[9]	[11]	[15]
北海道	北海道立総合研究機構環境科学研究センター（札幌市）	○	○	○	○	○	○
札幌市	札幌市衛生研究所（札幌市）		○				○
埼玉県	埼玉県環境科学国際センター（加須市）	○	○		○		○
さいたま市	さいたま市保健所（さいたま市）			○		○	
千葉県	君津坂田一般環境大気測定局（君津市）		○			○	
神奈川県	神奈川県環境科学センター（平塚市）	○		○			
横浜市	戸塚区矢沢交差点自動車排出ガス測定局（横浜市）			○	○		
富山県	高岡伏木一般環境大気測定局（高岡市）		○				
	高岡戸出一般環境大気測定局（高岡市）					○	
石川県	石川県保健環境センター（金沢市）	○	○	○	○	○	○
山梨県	韮崎一般環境大気測定局（韮崎市）		○				
長野県	箕輪町役場（箕輪町）		○				
愛知県	豊川市役所（豊川市）					○	
名古屋市	千種区平和公園（名古屋市）		○				○
三重県	三重県保健環境研究所（四日市市）	○	○	○	○		○
京都市	京都市役所（京都市）	○		○			
和歌山県	和歌山県環境衛生研究センター（和歌山市）				○		
山口県	山口県環境保健センター（山口市）				○		
	宇部市見初ふれあいセンター（宇部市）				○	○	
徳島県	徳島県立保健製薬環境センター（徳島市）	○					
香川県	香川県高松合同庁舎（高松市）	○					
福岡県	福岡県保健環境研究所（太宰府市）		○				○
	大牟田市役所（大牟田市）		○	○			○
北九州市	北九州観測局（北九州市）		○				○
佐賀県	佐賀県環境センター（佐賀市）	○	○	○	○	○	○
大分県	大分市立三佐小学校（大分市）				○		
宮崎県	新延岡自動車排出ガス測定局（延岡市）					○	
	細島公民館（日向市）	○					

[2] 3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシル=イソシアネート、[6] 酢酸 2-メトキシエチル（別名：エチレングリコールモノメチルエーテルアセテート）、[7] 1,3-ジイソシアナト(メチル)ベンゼン類（別名：*m*-トリレンジイソシアネート類）、[9] ジビニルベンゼン類（*m*-体及び *p*-体の合計）、[11] *N,N*-ジメチルアセトアミド、[15] ブタン-2-オン=オキシム



図 1-3 平成 26 年度初期環境調査地点 (大気)

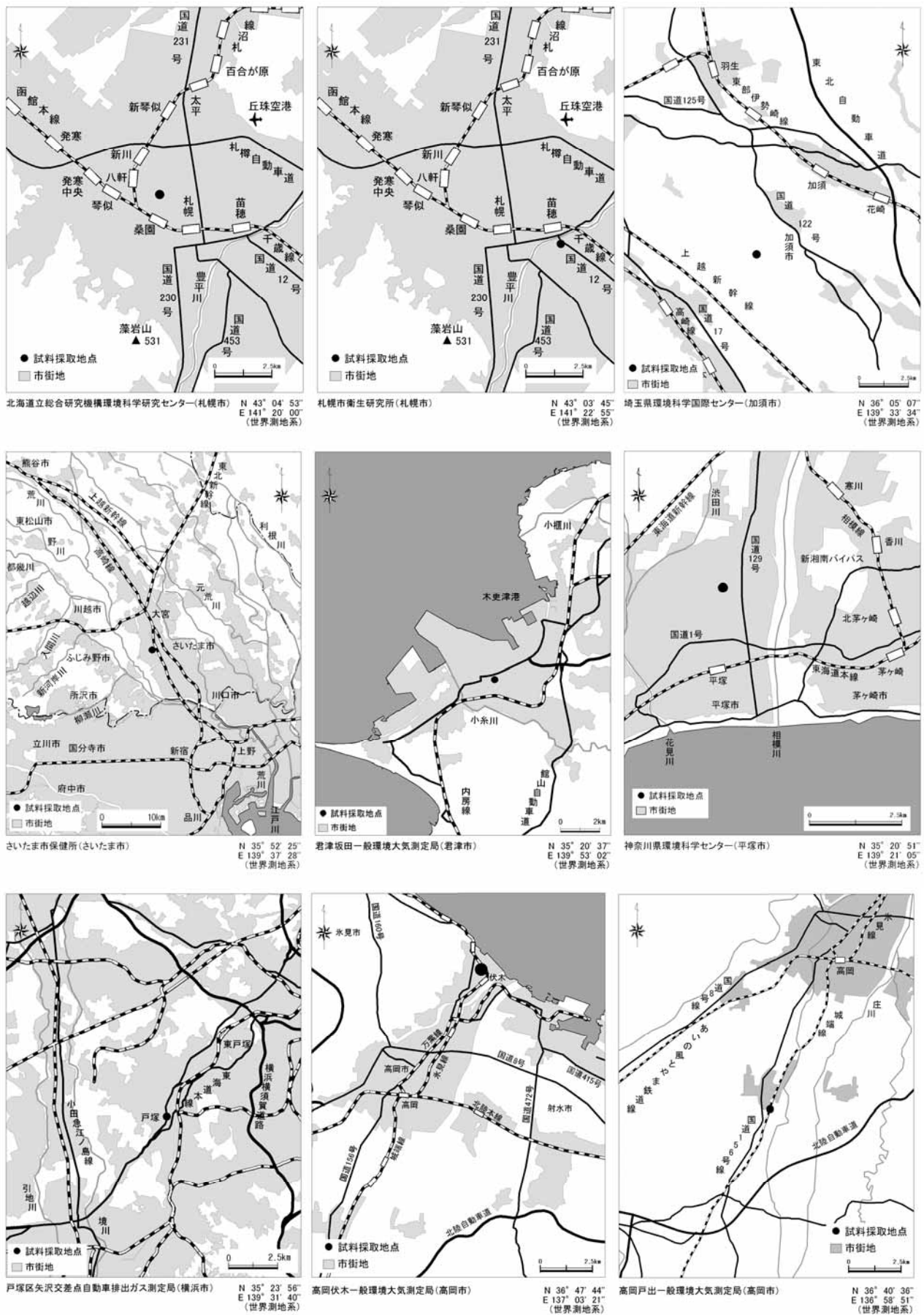


図 1-4 (1/4) 平成 26 年度初期環境調査地点 (大気) 詳細

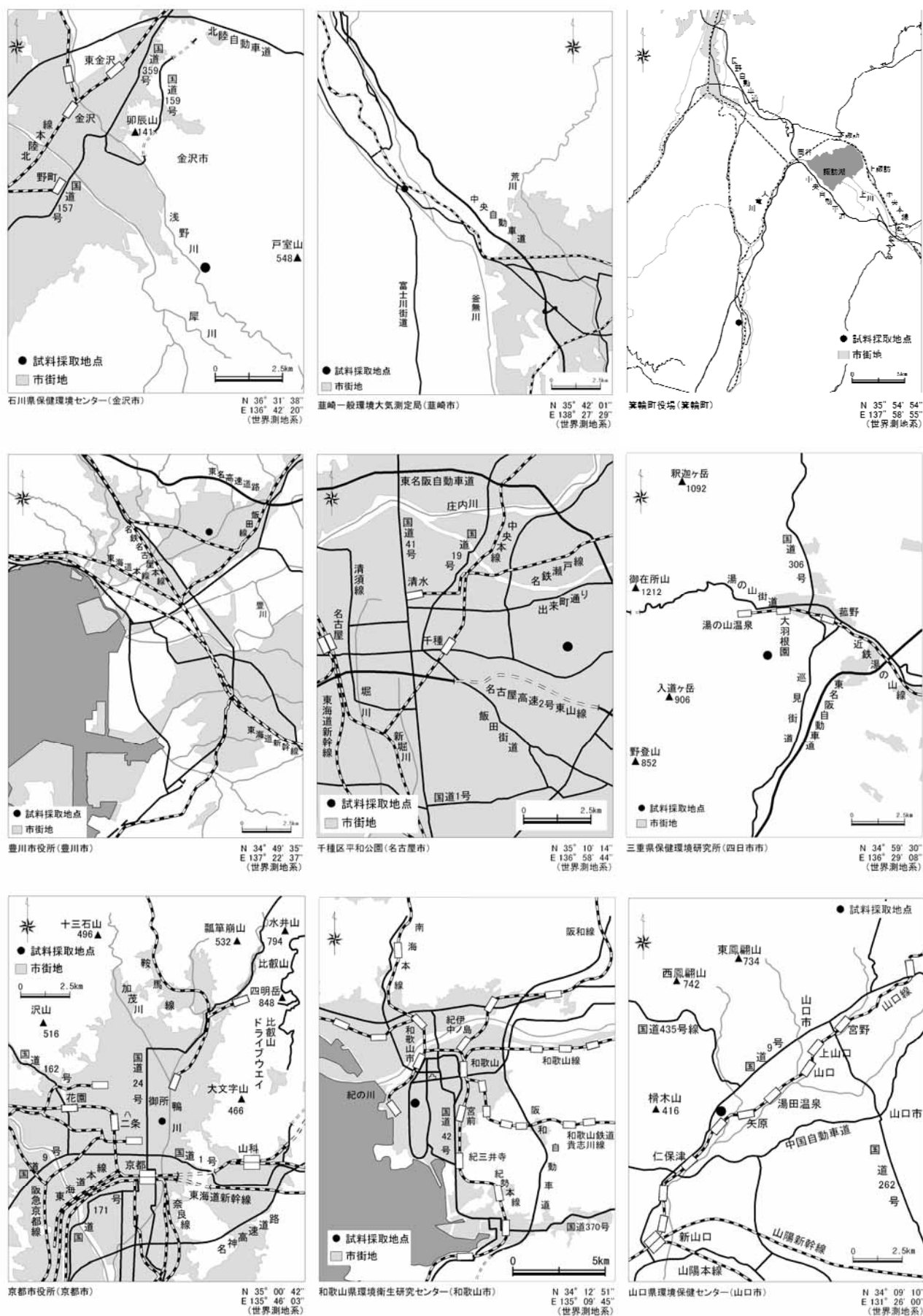


図 1-4 (2/4) 平成 26 年度初期環境調査地点 (大気) 詳細

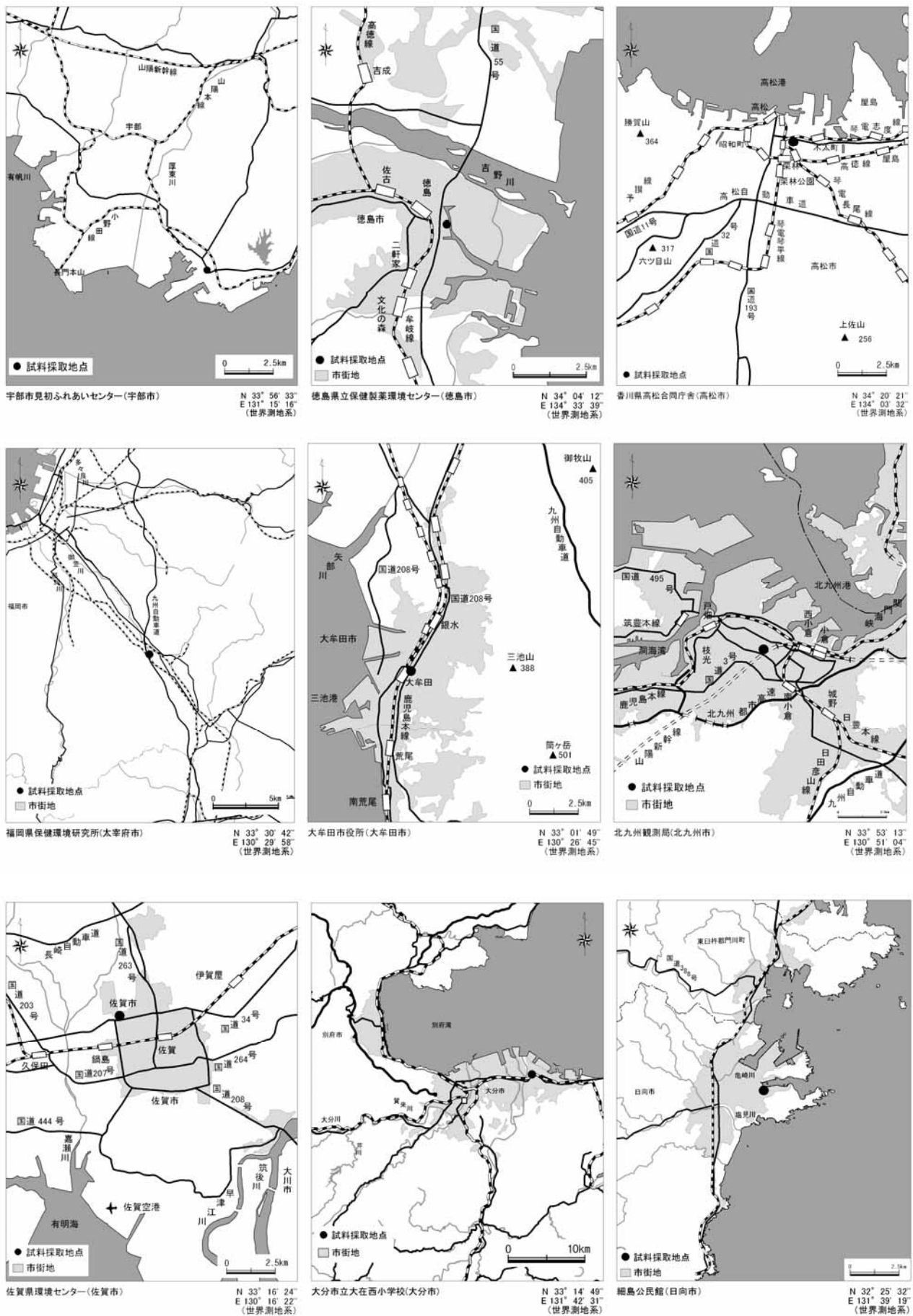


図 1-4 (3/4) 平成 26 年度初期環境調査地点 (大気) 詳細



図 1-4 (4/4) 平成 26 年度初期環境調査地点 (大気) 詳細

（３）試料の採取方法

試料の採取及び検体の調製方法については、「化学物質環境実態調査実施の手引き（平成 20 年度版）」（平成 21 年 3 月、環境省環境保健部環境安全課）に従って実施した。

（４）分析法

分析法の概要は、調査結果報告書詳細版（環境省ホームページ）を参照のこと。

（５）検出下限値

分析機関が分析データを報告した時の検出下限値は、試料の性状や利用可能な測定装置が異なることから必ずしも同一となっていないため、集計に関しては、統一の検出下限値を設定して、分析機関から報告された分析値を次の 2 つの手順で取りまとめた。

1）高感度の分析における検出値の不検出扱い

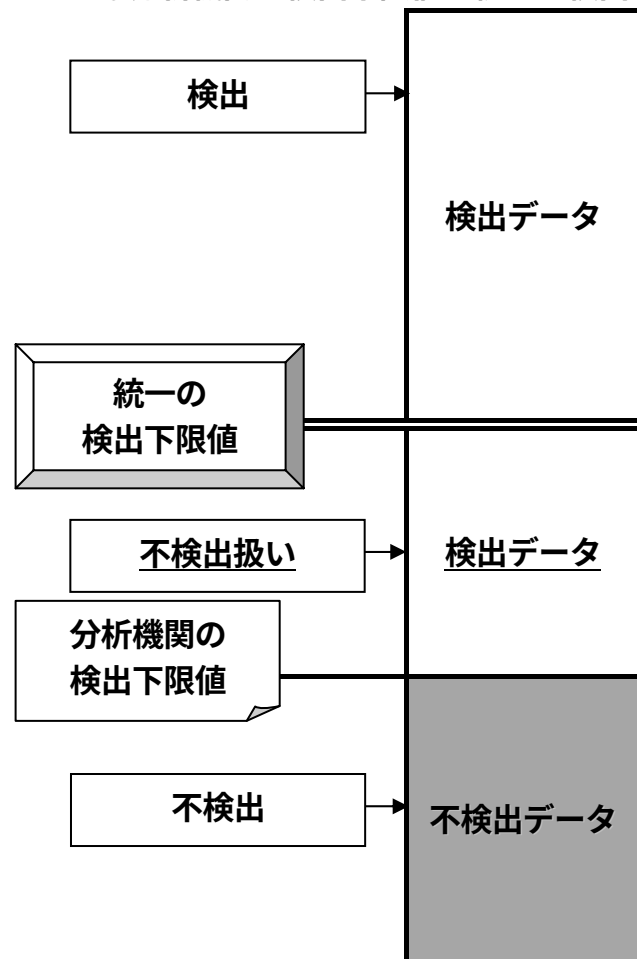
分析機関における検出下限値が統一の検出下限値を下回る高感度の分析を実施した場合においては、統一の検出下限値を下回った測定値について、全国集計上は不検出として取り扱うこととした（概念図①を参照）。

2）感度不足の分析における不検出値の集計対象からの除外扱い

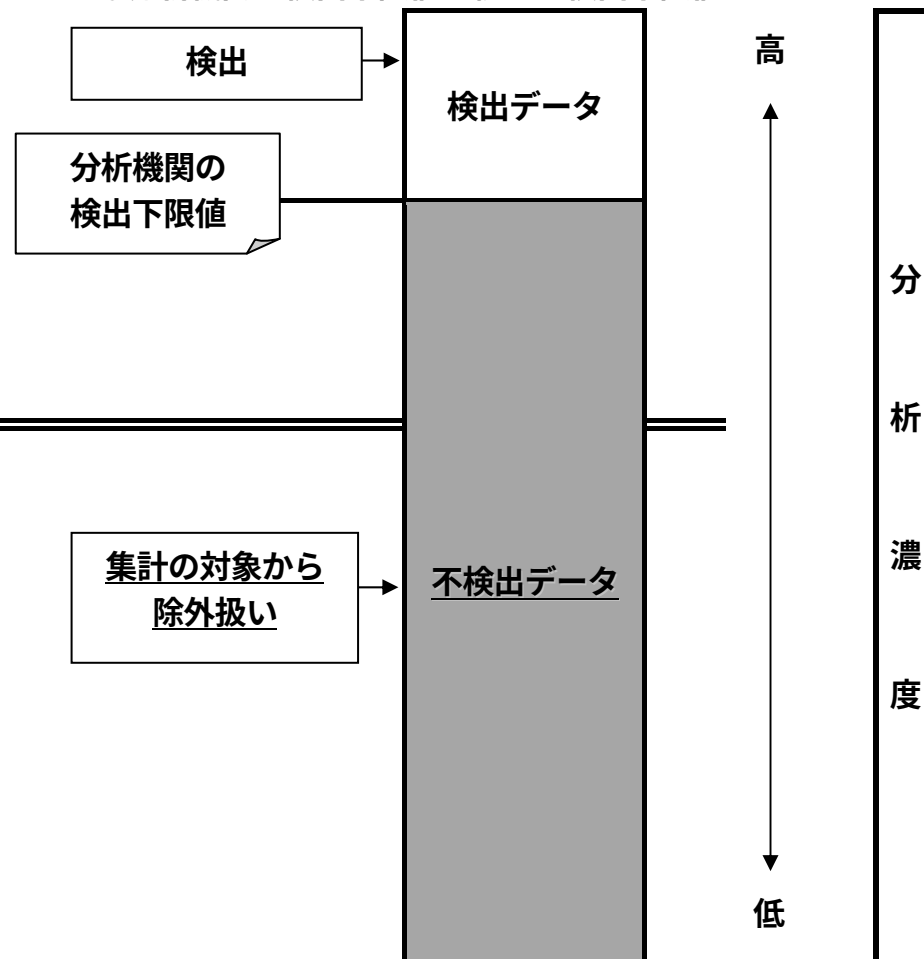
分析機関における検出下限値が統一の検出下限値より大きい場合において、調査対象物質が検出されないときは集計の対象から除外扱いとした（概念図②を参照）。

初期環境調査の分析法に採用した化学物質分析法開発調査報告書等に記載されている分析法（以下「初期環境調査分析法」という。）において装置検出下限値（以下「IDL 判定値」という。）及び分析法の検出下限値（以下「MDL」という。）が記載されている場合においては、分析機関で測定した IDL が IDL 判定値より小さいときには、初期環境調査分析法の MDL を当該分析機関の検出下限値とした。

①分析機関の検出下限値 $\leq$ 統一の検出下限値



②分析機関の検出下限値 $>$ 統一の検出下限値



分析値を取りまとめる際の概念図